



網走養護学校だより

令和3年度
第 5 号
(通216巻号)
2月18日発行

TEL 0152-48-2137

(※1) 「ICT (Information Communication Technology) の活用」

北海道網走養護学校教頭 山 崎 文 隆

現在、世の中は(※2) Society5.0(超スマート社会)に向かって技術革新が急速に進んでいます。このことにより教育においても新学習指導要領で学習の基礎となる資質・能力として情報活用能力を子供たちに体系的に育てていくため、国では「GIGA スクール構想」のもと、学校における高速大容量ネットワーク環境の整備を目指すことが示されました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一人一台端末の実現を目指す等教育分野におけるICT化が一層加速する状況となっています。これを受け、学校では、ICT基盤とした先端技術等を効果的に活用し、子供の力を最大限に引き出し、「個別最適化された学び」の実現を推進することが急務となっています。

先日もweb会議システム(Zoomズーム)による会議が行われました。この会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席する学校のテレビやPC(パソコン)を使いオンラインによる遠隔会議のことです。時間制限があるので短時間の会議でしたが、最低限の環境さえ整っていればスムーズに議事が進み簡潔に会議ができることを実感いたしました。

今後は、児童生徒に対しICTを効果的に活用していく力やインターネット上の情報の中から自分がほしい正しい情報を引き出し、活用していく力を育てていくため、学習内容や授業の方法を充実させることが必要であり、検討を進めていきたいと考えています。

3学期も残りわずかとなりましたが、保護者の皆様、地域、関係機関の皆様の御理解と御協力をいただきありがとうございました。今後も新型コロナウイルス感染症の基本的な(マスク・手洗い・換気・検温等)対応を徹底し学習活動を継続し、健康に留意して有意義に過ごしていただきたいと思います。

※1 「ICT」とは

SNS上でのやりとりやメールでのコミュニケーション等、人同士のコミュニケーションを手助けし、「最新技術を使ってどのように人々の暮らしを豊かにしていくか」という活用方法に関する考え方。意味は「情報通信技術」。

※2 「Society5.0」とは

AIやドローン・自動運転・無人ロボットなど最新テクノロジーの活用により少子高齢化・地域格差などの課題を解決し一人一人が快適に暮らせる社会。Society1.0 は狩猟社会・Society2.0 は農耕社会・Society3.0 は工業社会・Society4.0 は情報社会・Society5.0 は「超スマート社会」と呼ばれ、第5期科学技術基本計画において提唱。



クリスマス会では、提供される料理も皆さんを喜ばせてくれます。クリスマスらしいメニューを考え、調理して下さる栄養教諭や調理員の皆さんに感謝したいと思います。



本年もどうぞよろしくお願いいたします。今号の学校便りでは、寄宿舍で行われたクリスマス会の様子を写真とともにお伝えしました。次号は、今年度最後の学校便り発行になります。（文責：塩越）